

平成 2 6 年 度
公立 大 学 法 人 業 務 実 績 評 価 書

平成 2 7 年 8 月
福 岡 県 公 立 大 学 法 人 評 価 委 員 会

目 次

年度評価の考え方	1 ページ
各法人の評価		
1 公立大学法人九州歯科大学		
(1) 全体評価	3 ページ
(2) 項目別評価	4 ページ
2 公立大学法人福岡女子大学		
(1) 全体評価	9 ページ
(2) 項目別評価	10 ページ
3 公立大学法人福岡県立大学		
(1) 全体評価	15 ページ
(2) 項目別評価	16 ページ

年度評価の考え方

1 項目別評価（中期目標項目別評価）

評価委員会は、法人から提出された業務実績報告書等を基に、業務の実績等について調査・分析を行う。

これらの調査・分析を踏まえ、中期目標の項目（教育、研究、社会貢献、業務運営、財務、評価及び情報公開）ごとに、中期目標

- ・中期計画の達成に向けた業務の進捗状況及び特記事項の内容を総合的に勘案して、5段階で評価する。

- | |
|---|
| <p>5：中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。</p> <p>4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。</p> <p>3：中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。</p> <p>2：中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。</p> <p>1：中期目標・中期計画の達成のためには重大な改善事項がある。</p> |
|---|

2 全体評価

中期目標項目別評価を踏まえ、中期目標・中期計画の進捗状況全体の総合的な評価を記述式で記載する。

また、必要がある場合は、組織・業務運営等に係る改善すべき事項を記載する。

※ 評価委員会の評価は、各法人が中期計画において設定した業務実施の計画や達成目標等を踏まえて行なったものであり、法人間の相対評価をしめすものではない。

公立大学法人九州歯科大学

I 全体評価

平成18年度に法人化した公立大学法人九州歯科大学は、理事長のリーダーシップの下、法人化のメリットを活かした取組を積極的に進め、教育研究等の充実及び主体的・自律的な大学運営に努めてきたところである。

九州歯科大学は、平成24年度から第2期中期目標期間（平成24年4月1日から平成30年3月31日まで）に入り、3事業年度目を迎えたところであるが、設立団体である福岡県が定めた中期目標において、歯科保健医療の高度な専門的知識・技術を教授するとともに、患者の痛みを理解し、円滑な意思疎通ができる能力を身に付け、歯科保健医療の分野において活躍する優秀な医療人を育成することを最も重要な使命としている。

平成26年度の評価にあたっては、前年度評価において指摘した事項の改善状況を確認するとともに、これまでの業務実績も踏まえ、第2期中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目6項目中全て（教育、研究、社会貢献、業務運営、財務、評価及び情報公開）について「順調に進んでいる」と評定した。

また、中期目標に掲げている重点事項については、学生の歯科医療人としての自覚を高めるため、実践的な臨床能力が体得できるような全体的なカリキュラムの改善を図るなど着実に取り組んでいる。

以上のことを踏まえ、公立大学法人九州歯科大学の平成26年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としては順調に進捗していると認められる。

歯科医療の高度化や高齢化社会の進展等、歯科保健医療を取り巻く環境や社会的ニーズが変化する中、公立大学としての役割を踏まえ、教育研究はもとより社会貢献の充実に向けた取組を更に推進されることを期待する。

Ⅱ 項目別評価（中期目標項目別評価）

1 教育

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

教育については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。評価する点は、以下に示すとおり。

- (1) 地域の歯科保健医療に貢献する歯科医師及び歯科衛生士の育成
 - ・初年次から登院実習までの一連の教育を充実するため、歯科基礎・臨床医学教育、及び診療参加型臨床実習の連続的な歯学教育カリキュラムの改善を図った。
 - ・臨床推論能力の養成等に取り組み、平成26年度の歯科医師国家試験合格率が全国29大学中4位と高水準であったことを評価する。
- (2) 特色ある大学院教育による優れた教員・研究者の育成
 - ・口腔保健学専攻修士課程について、入学定員充足率を充たして教育を開始した。
 - ・大学間連携共同教育推進事業において、4大学間での単位互換協定に基づき学生の相互受入を開始した。
- (3) 教員の教育力の向上
 - ・国家試験結果等の検証や教育改善につながるワークショップの開催などにより教員の意識を深め、FD（※）の推進に努めている。

※FD（ファカルティ・ディベロップメント）

教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称

- (4) 適性のある優秀な人材の確保
 - ・模擬講義の実施など高大連携に取り組むとともに、高校訪問、大学施設見学会等の入試広報活動の充実を図ることで、入試科目の大きな改編にもかかわらず、歯学科の志願倍率が目標を上回った。

(5) 学生への支援

- ・口腔保健学科において、「就職支援実施会議」を活用して組織的に就職活動を支援した結果、民間企業、官公庁等への就職先を開拓した。

2 研究

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

研究については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。
評価する点は、以下に示すとおり。

- ・科学研究費補助金の採択率が高水準を維持するとともに、獲得件数も目標を大きく上回っており、外部研究資金を積極的に獲得している。
- ・(公財)北九州産業学術推進機構、民間企業との三者で、医療・介護分野における協定を締結し、先端的かつ広い視野を有する人材育成、新規技術の創出を目指している。

3 社会貢献

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

社会貢献については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。
評価する点は、以下に示すとおり。

- ・海外大学との学術交流を開始し、国際シンポジウムの開催や短期海外派遣プログラムの構築など幅広く活動を推進しており、今後の活動に大いに期待する。

4 業務運営

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

業務運営については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。
評価する点は、以下に示すとおり。

- ・事務局機能の強化に向けて、プロパー職員を採用するとともに、外部研修会への職員派遣を行った。
- ・診療参加型臨床実習を実践するため第2総合診療科を開設し、臨床教育の充実を図る体制を構築した。

5 財務

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

財務については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。
評価する点は、以下に示すとおり。

- ・外部研究資金に加え、教育等に関する外部資金の獲得により、目標を上回る収入実績をあげている。
- ・歯科診療所では対応困難な患者に対する訪問歯科診療及び訪問口腔衛生指導について、体制を工夫することで実施回数を増やした。

6 評価及び情報公開

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

評価及び情報公開については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- 大学ホームページ等で教育研究情報を適切に公開している。
- 創立百周年記念事業を大学広報活動に活用し、大学情報を広く発信するとともに、創立百周年記念事業募金の残金を基に基金を設立したことを評価する。

公立大学法人福岡女子大学

I 全体評価

平成18年度に法人化した公立大学法人福岡女子大学は、理事長のリーダーシップの下、法人化のメリットを活かした取組を積極的に進め、教育研究等の充実及び主体的・自律的な大学運営に努めてきたところである。

福岡女子大学は、平成24年度から第2期中期目標期間（平成24年4月1日から平成30年3月31日まで）に入り、3事業年度目を迎えたところであるが、設立団体である福岡県が定めた中期目標において、時代や社会の変化に柔軟に対応できる豊かな知識と確かな判断力、しなやかな適応力を持ち、アジアや世界の視点に立って、国内はもとより、海外の国や地域において、より良い社会づくりに貢献することのできる女性を育成することを最も重要な使命としている。

平成26年度の評価にあたっては、前年度評価において指摘した事項の改善状況を確認するとともに、これまでの業務実績も踏まえ、第2期中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目6項目中1項目(社会貢献)について「特筆すべき進捗状況にある」、5項目(教育、研究、業務運営、財務、評価及び情報公開)について「順調に進んでいる」と評定した。

また、中期目標に掲げている重点事項については、国際的な学習環境を提供するために、海外有力大学への交換留学や海外語学研修への学生派遣、外国人留学生の受入を積極的に行うなど着実に取り組んでいる。

以上のことを踏まえ、公立大学法人福岡女子大学の平成26年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としては順調に進捗していると認められる。

福岡女子大学は、平成23年度に国際文理学部を開設し、新しい時代にふさわしい大学づくりに向けた改革に全力で取り組んでおり、一定の成果がみられる。

今後とも理事長のリーダーシップの下、全教職員が大学の理念の実現を目指した「福岡女子大学将来ビジョン」を共有し、一丸となって実効性の高い改革を進められることを期待する。

Ⅱ 項目別評価（中期目標項目別評価）

1 教育

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

教育については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。
評価する点は、以下に示すとおり。

- (1) グローバル化時代に求められる基盤的・実践的な能力を養成する学部共通の教育
 - ・留学生の受入を進めるとともに、交換留学、海外体験学習、語学・文化研修など海外派遣学生数全体として目標を達成しており、国際的な学習環境の充実に積極的に取り組んでいることを評価する。
 - ・「国際学友寮 なでしこ」での全寮制教育において、新たにイングリッシュ・ティ・タイムを実施するなど、学生が主体的に寮運営に取り組んでいる。
- (2) グローバル社会の課題に対応した各学科の教育
 - ・目標達成者（TOEFL550点以上）はまだ少数にとどまっているものの、TOEFL 対策講座の充実や学生主体の語学学習活動への支援等により学生の英語コミュニケーション能力が向上している。
 - ・栄養・健康関連の海外体験学習プログラムの拡充や、外国人留学生の管理栄養士国家試験の合格など、食のグローバル化に対応する教育の充実が図られた。
- (3) 大学院教育
 - ・国際文理学部の教育研究を発展・深化する新しい大学院研究科として、人文社会科学研究科及び人間環境科学研究科を設置した。
- (4) 教員の教育能力の向上
 - ・「プログレス・ファイル」（学生が各履修科目についての学習目標、成果、課題等について記入するファイル）や「カリキュラム・

マトリックス」(授業ごとに獲得すべき能力・態度分布を明らかにした表)等による教育成果の検証や、FD(※)の推進に努めており、授業アンケート結果の公表、公開授業を実施している。

※FD(ファカルティ・ディベロップメント)

教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称

(5) 意欲ある学生の確保

- ・高校訪問、出前講義、オープンキャンパスの開催等、入試広報活動に取り組み、学部全体の一般入試志願倍率が過去最高となった。

(6) 学生支援の充実

- ・企業訪問や就職対策講座開催等により、新規卒業生全体の就職率が98.3%、外国人留学生の就職率も88.9%と高い数値となったことを評価する。

2 研究

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

研究については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。評価する点は、以下に示すとおり。

- ・文部科学省の女性研究者研究活動支援事業への採択を受け、研究者支援者制度の取組など研究環境の整備を推進した。
- ・東部地域大学連携での公開講座の実施や「アジア地域大学コンソーシアム福岡」の共同研究成果発表会等を通じて、国内外の大学との学術交流を積極的に実施している。
- ・地域活性化に貢献することを目的として(独法)都市再生機構九州支社と連携協定を締結した。

3 社会貢献

評価	5：中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
----	---------------------------------

社会貢献については、年度計画を着実に実施するとともに、目標を大幅に上回る取組や中期計画に掲げられる事項以外にも社会貢献に関する積極的な取組が認められたことから、特筆すべき進捗状況にあると判断し、5と評価する。
評価する点は、以下に示すとおり。

- ・文部科学省の社会人学び直し大学院プログラムへの採択、女性の活躍推進福岡県会議への主体的な参画等を評価する。
- ・地域連携センターによる学生ボランティア活動への支援を積極的に行った。
- ・小中高連携や、地域のニーズと大学のシーズが合致した教育支援を積極的に実施し、出前講義件数も目標を大きく上回った。
- ・「アジア地域大学コンソーシアム福岡」の代表者会議を開催した。
- ・短期留学生受入プログラムの参加国の多様化及び参加者数の増加、JD-Mates（※）登録者数の増加等を評価する。

※JD-Mates (Jyoshi-Dai-Mates)

外国人留学生の生活上、修学上の支援など福岡女子大学が実施する国際交流事業のサポートを行う学生

- ・留学フェアやイングリッシュ・ビレッジ等在校生の海外志向を高める取組を実施し、目標を上回る学生の海外派遣につながった。
- ・新校舎に福岡女子大学美術館を設置し、美術品を通して地域との連携・交流を促進した。

4 業務運営

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

業務運営については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。
評価する点は、以下に示すとおり。

- ・事務局機能の強化に向けて、プロパー職員を採用するとともに、職員の英語力向上研修の実施や外部研修会への職員派遣を行った。
- ・教員の個人業績評価制度を見直し、評価基準票や活動報告書の提出により、中期計画・年度計画の達成に対する貢献度を評価できるようにした。
- ・AEDを使用した救急救命講習会や消防訓練の充実により、学生や教職員の防災・人命救助意識の向上を図った。
- ・役員会において学生が参加可能な委員会を検討し、8つの委員会への参加を決定した。

5 財務

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

財務については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。評価する点は、以下に示すとおり。

- ・外部研究資金に加え、教育等に関する外部資金の獲得により、目標を上回る収入実績をあげていることを評価する。

6 評価及び情報公開

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

評価及び情報公開については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・大学ホームページ等で教育研究情報を適切に公開するとともに、IR委員会を設置し、学内の情報収集・分析体制を整えた。

公立大学法人福岡県立大学

I 全体評価

平成18年度に法人化した公立大学法人福岡県立大学は、理事長のリーダーシップの下、法人化のメリットを活かした取組を積極的に進め、教育研究等の充実及び主体的・自律的な大学運営に努めてきたところである。

福岡県立大学は、平成24年度から第2期中期目標期間（平成24年4月1日から平成30年3月31日まで）に入り、3事業年度目を迎えたところであるが、設立団体である福岡県が定めた中期目標において、人間社会学部と看護学部の連携のもと、関連する分野に関する幅広い視野を持ち、保健・医療・福祉の現場で中核となって活躍できる資質を持った優秀な職業人を育成することを最も重要な使命としている。

平成26年度の評価にあたっては、前年度評価において指摘した事項の改善状況を確認するとともに、これまでの業務実績も踏まえ、第2期中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目6項目中全て（教育、研究、社会貢献、業務運営、財務、評価及び情報公開）について「順調に進んでいる」と評定した。

また、中期目標に掲げている重点事項については、不登校・ひきこもりサポートセンターでの相談・支援事業、資格・免許保持者へのリカレント教育や研修等、社会貢献活動を積極的に実施するなど着実に取り組んでいる。

以上のことを踏まえ、公立大学法人福岡県立大学の平成26年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としては順調に進捗していると認められる。

福岡県立大学は、これまでに地域と連携した取組で着実な成果をあげてきている。

今後とも地域との連携のもと社会貢献活動等に積極的に取り組むとともに、大学の理念の実現を目指して、教育研究をはじめとした業務の充実・改善に向けた取組を更に推進されることを期待する。

Ⅱ 項目別評価（中期目標項目別評価）

1 教育

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

教育については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。
評価する点は、以下に示すとおり。

(1) 教養教育の充実

- ・グローバル化に対応するために、教養演習英語クラスの実施など語学教育の充実に取り組んでいる。

(2) 専門教育の充実

- ・東洋医療と西洋医療を融合した教育プログラムである「東洋看護学演習」を開講した。
- ・「ケアリングアイランド九州沖縄大学コンソーシアム」から発展した「文部科学省大学間連携共同教育推進事業」において、連携8大学の単位互換制度を早期に実施したことを評価する。

(3) 教育効果を検証するシステムの構築

- ・保健師、助産師、精神保健福祉士等の各種国家試験合格率が、高水準を維持している。

(4) 教員の教育能力の向上

- ・教員間の授業参観や公開授業を実施するなど、FD（※）の推進に努めている。

※FD（ファカルティ・ディベロップメント）

教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称

- ・看護学部において、臨床との共同研究の実施や臨床教授制の整備等により、臨床と教育研究の連携を図った。

(5) 優秀な学生の確保

- ・高大連携事業として新たに高校教諭との情報交換会を実施するとともに、オープンキャンパスの開催や入試説明会への参加等、入試広報活動に取り組んでいる。

(6) 学生支援の充実

- ・系統的キャリア形成支援講座やマイキャリアポケット（社会貢献活動記録帳）などきめ細かなキャリア形成支援に努めている。

(7) 学習環境の充実

- ・eラーニングシステムの改善、開設コース数の増加などIT教育システムの充実を図った。

(8) 人間社会学部の改革

- ・「全学横断型教育プログラム」を編成し、学内外に周知した。

(9) 両学部連携の大学院博士課程の新設

- ・改革推進委員会等で議論を重ねた。

2 研究

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

研究については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。
評価する点は、以下に示すとおり。

- ・科学研究費補助金の応募率及び獲得件数が目標を上回るなど、外部研究資金獲得を積極的に進めている。

3 社会貢献

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

社会貢献については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。
評価する点は、以下に示すとおり。

- ・交流協定校への短期研修プログラムを早期に実施した。
- ・不登校・ひきこもりサポートセンターにおいて、登校開始率が過去最高を達成するなど、不登校・ひきこもり対策を積極的に行っていることを評価する。
- ・看護師、保健師のリカレント教育事業数が目標及び前年度実績を上回った。

4 業務運営

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

業務運営については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。
評価する点は、以下に示すとおり。

- ・事務局機能の強化に向けて、プロパー職員を採用するとともに、外部研修会への職員派遣を行った。

5 財務

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

財務については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。
評価する点は、以下に示すとおり。

- ・外部研究資金に加え、教育等に関する外部資金の獲得により、目標を上回る収入実績をあげていることを評価する。

6 評価及び情報公開

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

評価及び情報公開については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・大学ホームページ等で教育研究情報を適切に公開するとともに、「全学横断型教育プログラム」をバナー掲載するなど、特色ある取組についてホームページで広報している。